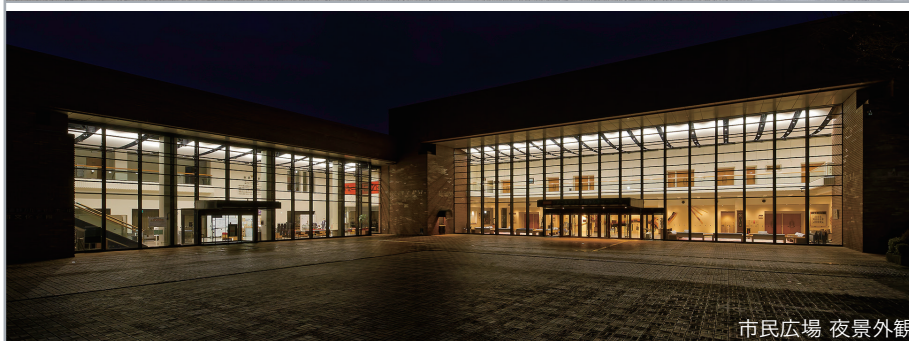




特定天井の改修工事が完了しました。

大ホールホワイエ 膜天井改修



市民広場 夜景外観



大ホール 天井落下防止対策

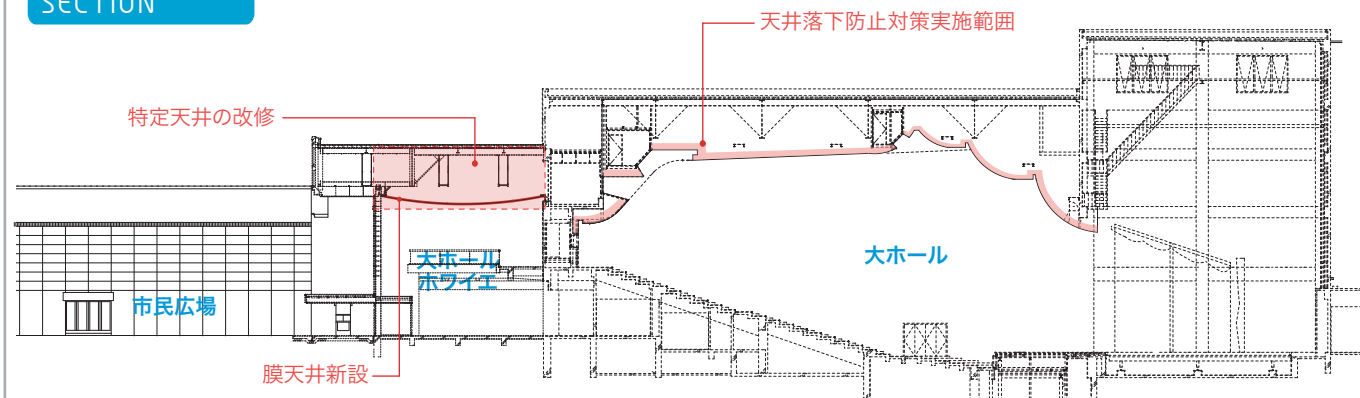


天井落下防止対策 ワ이어工法

DATA

敷地面積	: 14,244.69㎡	建ぺい率	: 38%
建築面積	: 5,415.21㎡	容積率	: 58%
延床面積	: 8,250.23㎡	構造・規模	: RC、SRC、一部S造、地下2階、地上3階
最高高さ	: 21.11m	設計期間	: 2023.06~2024.03、2024.10~2025.02
軒高	: 20.36m	工事期間	: 2025.07~2026.03

SECTION



大ホール・大ホールホワイエ SECTION S=1:250

CONCEPT

特定天井の改修

クアーズテック秦野カルチャーホールは1980年に竣工し、築後40年以上が経過していました。本施設の大ホール、大ホールホワイエ、小ホールおよび市民ロビーの天井は、大規模地震等で落下しないよう対策を講じる必要のある「特定天井（平成25年国土交通省告示第771号）」に該当することから、現行法規に適合させた改修工事が求められました。

TOPICS

大ホールホワイエ・市民ロビーの天井改修 ー軽量天井ー

既存はアルミルーバー吊りの天井でした。面積、天井高さを含め特定天井に該当することから、軽量天井（重量2kg/㎡以下）として、二辺支持の自然懸垂工法の膜天井を採用しています。

空調の吹き出し口やスプリンクラー、照明配置を調整の上、等間隔スリット開口を設けて天井デザインにアクセントを加えるとともに、懸垂膜が空間にやわらかい印象を与え、親しみやすい市民の交流空間を実現しています。

大ホール・小ホールの天井改修 ー天井落下防止対策ー

大ホール、小ホールの特定天井改修工事を計画するにあたり、利用者の安全確保を最優先とし、限られたコストおよび工期の中で実現可能な工法としてワイヤー工法を採用しています。これは、天井材の落下を許容しつつ人命保護優先した「天井落下防止対策」であり、既存天井を解体する必要のない工法です。また、ホール内の天井形状が変わらないことから、既存同等の音響性能を確保しています。